

ニューカマの国家帰属意識*

- ニューコリアタウン大久保を中心に -

朴正義**

(e-mail: kannan322@hotmail.com)

目次

1. はじめに
 2. オールドカマーの歴史を継承しない
 3. 日本ででの定着
 4. 子供の国籍取得に柔軟な姿勢
 5. おわりに
-

1. はじめに

過去において、「在日外国人問題」と言えば、オールドカマーの在日韓国・朝鮮人か、極少数の在日中国・台湾人を連想するのが一般的であった¹⁾。しかし、1980年に80万人にも満たなかった在日外国人数は2011年の統計で約200万人²⁾を超え、その数は年々増加する傾向にある。そして、現在ではニューカマーの数がオールドカマーの数を圧倒し³⁾、在日外国人問題の主流はニューカマーの問題となっている。ただし「在日韓国人朝鮮人」においては、ニューカマーの人口は現在約16万人で、まだオールドカマーの約39万人より少ない⁴⁾。しかし、オールドカマーの帰化などにより、さらにニューカマーの日本

* 이 논문은 2013년도 원광대학교 교내연구비로 연구함.

**원광대학교 일어교육과 일본학

1)オールドカマーとは特別永住権者を示す。元々、在日朝鮮人と極少数の在日台湾人を示すものであったが、韓日国交、中日国交による国籍変更によって、在日韓国人、在日中国人も存在するようになった。しかし、在日朝鮮人だけは、北朝鮮と日本との間において国交が結ばれていないので、地域名を示しているに過ぎなく、現在も無国籍者扱いである。

2)2011年度登録外国人統計統計表(法務省)によれば、総外国人数は2,078,508人である。

3)2011年度登録外国人統計統計表(法務省)によれば、特別永住権者の数が1991年693,050人で登録外人全体の約57%であったが、2011年度には389,083人で全体登録外人数の約19%にまで減少している。

移住の激増に伴い、10年以内にその数は確実に逆転するとも言われている。⁵⁾即ち、「在日韓国人・朝鮮人」問題も、ニューカマーが主対象となってきている。

最近、主に単純労働者として急増してきたニューカマーは、そのほとんどが「出稼ぎ」を目的とし一定の金を稼いだ後は帰国を希望している。それに対し、韓国からのニューカマーは、大久保一帯に商圈を広げるなど、他のニューカマーとは異なり一つの社会を作り上げている。この社会は、「出稼ぎ社会」から、永住権をとるなど「移民社会」へと確実に移行している。さらに、彼らは、将来日本において韓国系日本人として「少数民族」を形成していくのか。これが、本論文のテーマである。

日本において、古代には「隼人」「蝦夷」、近現代は「琉球」「アイヌ」と、実際には少数民族が存在し続けたにもかかわらず、それに対する歴史的認識はない。過去の植民地政策の結果として日本に暮しているオールドカマーは、今も外国人として暮しているものであって、少数民族と認識されたことはない⁶⁾。また、帰化した者は何々系日本人として受入れられるのではなく、同化し完全なる日本人になることが要求されてきた。帰化するに当たって日本語名への変更もその一つである。それを強要する条項はないが、そこには強い変更勧告があり、帰化申請者にとってはそれは強制ともいえるものである。名前からして日本語名を要求する帰化政策である。日本語名に変更すれば、二世の時代には他民族であった痕跡は残らない。つまり、外国人を同化した日本人として受け入れるのであって、民族性を残した何々系日本人として受け入れるのではない。⁷⁾

日本は、近代ヨーロッパにおいて作り出された国民国家観というイデオロギーのもとに、『古事記』の天皇を近代の概念でもって解釈し、それを根拠として「太古の時代から一つの民族」という他で見られない強い国民国家観を完成した。これが、「大和民族だけが、日本人である」「日本は、この日本人だけのものである」という意識を日本人の中に深く根付かせ、閉鎖的な日本を形作ってきた。この意識は、日本において、移住外国人が少数民族化することを許して来なかった。

このような閉鎖的な日本において、将来、ニューカマーが外国人としてでなく、移住民さ

4)2011年度登録外国人統計表(法務省)によれば、オールドカマー(特別永住権者)385,232人、ニューカマー160,169人である。

5)毎年、一万から一万五千人のオールドカマーが帰化している。さらに、オールドカマーの結婚相手の9割が日本人で、その子のほとんどは日本国籍を取得している。つまり、オールドカマーの増加はなく、減少だけである。(白井美友紀編『日本国籍を取りますか?』新幹社 2007年 p.158~159)

6)1952年のサンフランシスコ条約によって、在日朝鮮人は国籍選択権を与えられず、一方的に日本国籍を取り上げられる形となった。それ以降の国籍習得は、「帰化」と言う形をとり、この時「日本国民であった」という規定はない。他の外人と同じように扱われてきた。つまり、外国人として日本に住むことを強要し、全ての権利を奪ってきたといえる。(田中宏『在日外国人』岩波新書 2010(1995)年 p.p.68~71)

7)坂中論文で有名な坂中英徳(元東京入局管理局長)氏は、「日本は現在、同化政策をとっていないが、同化の強い社会と述べている。(白井美友紀編『日本国籍を取りますか?』新幹社 2007年 p.168)確かに、同化を進める規範はない。しかし、民族学校の取り扱いなど、多元性を認めていない。さらに、日本社会に同化していくことが望ましいという規範を持ち、それを放置している以上、それは同化政策といえる。また、最近の右翼による在日外国人に対するヘイトスピーチを放置することによって差別を助長し、帰化=同化するしかない社会を作り上げている。

らに少数民族としての社会を構築していくのか。この鍵を握るのが、ニューカマーの国家帰属意識である。国民国家観が強い日本において、ニューカマーが韓国系日本人として少数民族化していくのに立ちちはだかる大きな壁が国籍問題である。将来、ニューカマーがこれを克服できるかが、本論文の焦点である。

本論文は、2012年の12月から2013年の2月にかけて行なった、ニューカマーの象徴ともいえる大久保コリアタウンでのアンケートとインタビューによる「ニューカマーの国家帰属意識」調査をもとに、書き上げた。

この大久保コリアタウンとは、正確には新宿区大久保1・2丁目に百人町1・2丁目を合わせた所を言う。つまり、大久保通りと職安通り、そしてこの二つの通りをつなぐ路地である。過去においてこの地域は、夜独り歩きができない犯罪の街として知られていた。それが、コリアタウンの形成とともに多くの日本人が訪れるようになり、街は活性化し現在は観光名所ともなっている。在日本韓国人連合会(略称・韓人会)⁸⁾の初代会長金熙錫氏が、インタビューで「私は、新宿区長さんから、『コリアタウンは、国際化の街づくりの理想だ』と、感謝されました」⁹⁾と言うように、大久保コリアタウンは国際都市を目指す新宿区のモデルケースにもなっている。

確かに、地域住民の中には、「大久保の街が韓国人に乗っ取られた」と反感を持つ者もいる。しかし、コリアタウンの形成によって、治安はよくなり、建物・部屋代の賃貸収入は激増し¹⁰⁾、また地代が急上昇し、その地域住民人にとってはマイナス要因よりプラス要因のほうが大きい。

今回のアンケート調査・インタビューの対象は、この大久保コリアタウンで店または会社を経営している者達である。つまり、大久保コリアタウンを作り上げた人達を対象とした。経営者を唯一対象としたのは、彼らの事業体が日本にあるのでこれから先も日本に暮し続ける可能性が高く、さらに、将来的に日本国籍を取得する可能性が高いと思われたためである。

アンケート調査件数は49件、またインタビューを受けてくれた人は21人であった。資料として少ないように思われるが、今回のアンケート調査とインタビューは不特定多数を対象としたのではなく限定された者を対象としたため、アンケート調査とインタビューは困難を極め低い数字となった。これは、店を一軒一軒回りながら、店主に会ってアンケート調査とインタビューを行えばいいという単純なものではなかった。

8)2001年5月20日に、会長金熙錫らによって在日本韓国人連合会(略称：韓人会)が結成された。ニューカマーの在日韓国人による全国組織で、民団に次ぐ韓国人親睦団体である。本部事務所は東京都新宿区大久保にある。この組織は、中央組織がありその下に地方組織があるのではなく、地方地方独立した組織で、その連合体組織である。会の目的と方針は、①会員相互親睦と情報共有②地域社会の発展と融和③民族教育の活性化、母国語による教育④日本の法律を守り、日本人とともに地域社会に貢献する。この中で、②と④は、民団・総連とは異なり日本社会に溶け込むことを重視している。

9)韓国伝統家庭料理元祖松屋 経営①取材日時：2013年1月11日午後3時 ②取材場所：東京都新宿区百人町

10)「一等地の地代は、銀座と同じくらいである」李義炯 (株)巨山 代表取締役①取材日時：2013年2月13日15:15 ②取材場所：東京都新宿区大久保 (株)巨山

大久保のコリアタウンには韓国関連の店舗が300以上あるが、ほとんどが企業化し店とは別の所に事務所を構えていた。このため、大久保コリアタウンにある店舗に行っても経営者は不在で、さらに、事務所を尋ねても不在の場合が多く、運よく会えたとしても多忙のためアンケート調査とインタビューに応じてもらえなかったのが実状であった。そこで、人を介して日時を約束し、アンケート調査とインタビューを行う方法をとった。しかし、これもまた、約束を取るのが一苦勞で、さらに約束を取ったとしても突然日時を変更されるのは日常茶飯事で、アンケート調査とインタビューを行える効率は非常に低いものであった。しかも、大久保に店舗が300以上あると前述したが、一人がいくつもの店舗や会社を経営しており、実際の経営者は100人にも満たないであろう。

従って、今回の49件のアンケート調査と21人のインタビューは、十分に大久保の経営者を代弁できる数値と言える。

2. オールドカマーの歴史を継承しない

まず、オールドカマーとニューカマーとの関係であるが。オールドカマーには日本を拒否したまま同化されたという歴史がある。11)この歴史を、ニューカマーが継承して行くのかどうかを見極めることは、将来のニューカマーの将来の定着形態を予測するのに必要不可欠であった。

オールドカマー社会の一体性を支えていたものを図式化して言えば、差別・無権利・貧困といった、在日がともに直面していた現実と、そこからの救済が仮託された祖国への憧憬、統一への夢という彼岸の意識であった。オールドカマー一世の意識には、実際に帰国するか否かは別として、「統一すれば帰る」が前提としてあった。民族教育も、元々祖国への帰国を前提として始められたものである。12)そして、当時の在日の二大組織である民団・総連は、ともに本國志向型の組織で本國との繋がりからしか在日を捉えきれず、「将来に渡っての日本定住」という考えはタブー視してきた。つまり、在日にとって日本は仮の居場所ではなかった。

しかし、現在の在日社会の主役は一世から祖国を知らない二・三世さらに四・五世へ移行しており、大多数のオールドカマーは韓国語が喋れず13)、祖国の文化に違和感を感じ、唯一祖

11)小熊英二・姜尚中編『在日一世の記憶』 集英社新書 2009(2008)年

12)呉圭祥『ドキュメント 在日本朝鮮人連盟』岩波書店 2009年 p.130

13)日本国内に約6万人と言われる在日コリアンの小・中学校生のうち、約1%が在日本大韓国民団系の韓国学校に、約10%が在日本朝鮮人総連合会系の朝鮮学校に通っている。従来、在日コリアン児童の民族教育(祖国の言語、歴史、文化の教育)はこうした民族学校と各家庭が担ってきた。だが、「祖国を知らない」2・3世の親が増える中、家庭だけでは十分な民族教育の機会が得られていないのが実情である。そして、現在民族学校に通っている在日は10%ほどで、特に韓国系民族学校はニューカマーの比率が高く、オールドカマーの子弟は、日本人学校に通っているのが通常で、大学を卒業するまで民族教育を受ける機会がない。(http://www.asc-net.or.jp/koreatown/zainichi.htm、各民族学校HPなどの資料より推定)。

国との繋がりは国籍が韓国であるという事実だけである。さらに、祖国訪問または本国人との接触は、彼らが韓国人であるという自らのアイデンティティを否定し続けた。帰属(国籍)だけが韓国・朝鮮で、彼らのアイデンティティはすでに日本にあるといっても過言でない。

故国を知らず日本に住み続けるしかないにもかかわらず、日本人になること(日本国籍取得)を拒否し続ける屈折した在日(オールドカマー)の意識に対し、首都大学東京教授の鄭大均氏は「在日韓国人(オールドカマー)の終焉」を書き上げ、日本人化した在日(オールドカマー)三世・四世・五世が現在も韓国人として暮す意味を改めて問い、国籍取得によって日本人になることを勧めている¹⁴⁾。確かに、方向性としては正しいであろう。しかし、彼らが帰化した後は、完全に同化した日本人が残るだけで、そこには韓国系日本人は存在しない。そして、彼らの歴史までも奪ってしまう結果になるだろう。このようなオールドカマーにニューカマーが同胞意識を感じ、彼らも同じく日本を拒否したまま同化された歴史を継承して行くのが、国籍取得において大きな焦点となると考えた。

資料①で見ると、韓国人が血を重視することからくるものであろうが、90%の回答者がオールドカマーを同胞と認識している。

また、資料②で見ると、「在日韓国人は日本社会で差別を受けていると思いますか」との質問に対し70%以上が「ある」と回答し、さらに資料③でみると、「在日韓国人をどう思いますか」という質問に対し半数以上が「差別のなかでたくましく生きている」、30%が「民族心愛国心を持っている」と回答し、オールドカマーに対し一定の評価を下している。

しかし、同じく資料③「在日韓国人をどう思いますか」の質問に対し、30%以上の回答者は、オールドカマーを「実質的に日本人と同じだ」と思い、14%が「日本人より付きにくい」と思っているなどなど、オールドカマーをマイナス要因で見る傾向も同時にある。特にこれらは、オールドカマーも同じ韓国人と思っていたにもかかわらず、文化的に大きな違いを感じた結果であろう。

資料① 「在日韓国人を同胞と認めますか」(回答件数 49名)

	思う	分からない	思わない
数	44	5	0
%	90%	10%	0%

資料② 「在日韓国人は日本社会で差別を受けていると思いますか」(回答件数 49名)

	思う	分からない	思わない
数	35	4	10
%	71%	8%	21%

14)鄭大均『在日韓国人(オールドカマー)の終焉』文春新書 2001年

資料③ 「在日韓国人をどう思いますか」(複数回答可 回答件数49名)

	差別の中で遅く 生きている	民族心愛国心を 持っている	民族心愛国心を もっていない	日本人より贅沢な 暮らしをしている
数	26	15	0	1
%	53%	31%	0%	2%

実質的に日本 人と同じだ	金はあるが、文 化的に欠けている	日本人より道徳 的に欠けている	日本人より付き にくい	その他
15	16	5	7	2
31%	33%	10%	14%	4%

さらに、「日本に定着する時、誰が助けてくれましたか」(複数回答)の質問に対し、資料④で見られるように、日本人43%、韓国人(ニューカマーを含む)53%に比べ、在日韓国人(オールドカマー)と答えたのは16%にすぎなかった。それもほとんどが、親戚関係で、また比較的日本に早く来た人たちである。この時期は、ニューカマーのコロニが形成されておらず、日本での定着が難しく、親戚を頼りしかなかった時期である。

しかし、1980年後半の韓国での旅行・留学自由化以後¹⁵⁾に来たニューカマーは、在日韓国人との関わりで定着した人は少なく、この傾向は新しいニューカマーほど顕著に現れていた。また、ニューカマーが少ない時期に日本に来た歴代の韓人会長金熙錫¹⁶⁾氏(1980年来日)や趙玉濟氏¹⁷⁾(1985年来日)、また韓人会と関係のない呉世粉氏¹⁸⁾(1986年来日)からも、在日韓国人と事業関係上以外での交流は聞かれなかった。つまり、ニューカマーの多くは、オールドカマーとの接触はほとんどなく、オールドカマーを知らないと言える。先ほど述べた、「在日韓国人は、日本社会で差別を受けている」とか「差別のなかでたくましく生きている」というニューカマーがオールドカマーに対する感情は、直に接することによって感じたことではなく日本に来る以前から持っていた間接的知識から来るものである。特に、今回の対象である大久保は、韓国人であることによって差別を受けるより、韓国人であることが利点である地域である。この地域で働く者は、日本人から差別意識をあまり感じていないはずである。

ニューカマーの人的交流は、ニューカマー同士、またはニューカマーと日本人の間で形成されているのが現状であった。過去に職安通りに面したK-PLUS韓流百貨店の経営者呉ヨンソク(영석)氏のように、過去に民団の新宿区団長¹⁹⁾にもなったニューカマーもあり、

15)韓国では留学自由化が1980年の初めに実施され、それ以降に来日した韓国人はニューカマーと呼ばれるようになる。

16)韓国伝統家庭料理元祖松屋 経営①取材日時：2013年1月11日午後3時 ②取材場所：東京都新宿区百人町

17)(株)ニュークリエイティブ 代表取締役①取材日：2013年2月14日14:00 ②取材場所：東京都新宿区百人町

18)キムチ博物館 王家 経営者 ①取材日：2013年2月7日 17:30 ②取材場所：東京都新宿区北新宿

19)新宿区は東京都の中で、在日外国人が一番密接する地域で、そのなかでも在日韓国・朝鮮人の数

民団で今も活動している者もいるが、彼らはニューカマーにおいて少数である。大久保を管轄する新宿区民団事務所を尋ねて行っても、形式的な交流はあっても、実質的な人的交流は全くないとのことであった。そして、事務所のオールドカマーも、ニューカマーを自分達とは異なるものと認識していた。²⁰⁾

資料④「日本に定着する時、誰が助けてくれましたか」(複数回答可 回答件数49)

	日本人	在日韓国人 *	韓国人**	その他
数	21	8	26	3
%	43%	16%	53%	6%

*オールドカマーを意味する **ニューカマーと本国人を意味する

ならば、ニューカマーは日本・日本人をどのように考えているのか。資料⑤⑥で見ると、ニューカマーは日本の生活に94%が満足し、84%が日本を好んでいる。インタビューにおいて聞かれたのは、羅承道氏²¹⁾などのよう「日本が好きで来た」、または、具哲氏²²⁾などのように「ジャパンドリームを夢見てきた」。この両方を理由に日本に来た者が、全てであった。「好きだ」「ジャパンドリーム」から日本に来たのであって、でなければ来なかったであろう。さらに、インタビューの対象者は、大なり小なり事業に成功し、現在の生活に満足しているものがほとんどであった。だから、「日本の生活に満足」し、「日本を好だ」は、当然とも言える結果であろう。「満足していない」者も、日本の生活が嫌いではなく、思った以上に事業が成功していない結果として、「満足していない」である。

植民地政策の結果、日本に居残り差別と貧困のなか、日本社会と対立する形で日本に住み着いたオールドカマーと、自ら好んで日本に住み着き成功したニューカマーとは自ずから出発点が異なっている。即ち、日本を拒み続けたオールドカマーの歴史を、ニューカマーは継承する理由はないのである。

そして、ニューカマーは、オールドカマーが組織する民団とは別に韓人会を組織し、オールドカマーとは一線を画している。しかし、韓人会初代会長金熙錫氏が「これは民団と対立する組織ではありません。そのため、民団とは友好関係を保つのに努力しています。ですから、新年宴会など民団関係者を招待しています」²³⁾と語るように、決して民団と対立

が東日本大震災の影響で少し減少したが12,567人(2012年の統計)と一番多く、さらに構成員はニューカマーが80%を占める地域でもある。(研究レポート2011 『外人WGの報告(3)』 2012年1月 新宿区新宿自治創造研究所)

20)桜井武氏はオールドカマーとニューカマーの関係は密接であると報告している。(池垣環・桜井武『日本における韓国人ニューカマーの情報ネットワークの変容-FGIとMAXQDAを用いた分析を通して-』東京都市大学 環境情報学部情報メディアセンタージャーナル 2010.4 第11号)。しかし、今回の調査結果でみられるように、桜井武氏の報告はオールドカマーを頼って日本来た初期のニューカマーの段階で、現在はその傾向は減少している。少なくとも、大久保コリアタウンでは、そうであった。

21)(株)国際エクスプレス 代表取締役 (大韓貿易投資振興公社 公式指定会社)①取材日:2013年1月22日午前10時②取材場所:東京都新宿区

22)有限会社 K・J LIFE (豚ちゃん) 代表取締役①取材日:2013年1月17日 ②取材場所:東京都新宿区百人町 及川ビル4階

する考えはない。実際に公式的には友好関係を保とうと努力しており、新年宴会など相互に招待している。また、民団から韓人会に必要な経費の援助もある。このように、互いに同じ血が流れる同胞組織と認識し、できることなら協力して行きたいとも考えていた。

しかし、韓人会結成当時は振り返って初代会長の金熙錫氏が

1986年以降の海外自由化によって、ニューカマーが日本でも民族の大移動のように急激に増加しました。現在、18万人以上います。実質的には、民団員より多いです。私たちニューカマーが日本に定着する過程で、どうしても日本とのトラブルが起きます。これを本国が解決してくれるわけでもなく、また、オールドカマーとは抱えている問題が違いため、自分達の権益を自分達自ら守るためどうしても独自の組織が必要でした。

(略) 韓人会は、民団とは別の道を歩むべきです。先輩の組織なんですけど、民団はあまりにも理念的な組織です。過去に総連との壮絶なイデオロギー闘争があったので、仕方がなかったのかもしれませんが。さらに、韓国と日本との歴史問題があって、つまり植民地政策の結果として日本に定着したんで、日本とは厚い壁があるんですね。しかし、われわれは、自分の選択で日本に来たわけです。過去の歴史よりは、未来志向で、将来自分達の子供たちが日本にどのように定着していくかです。つまり、これから日本人と韓国人が仲よく暮していきたいと思っています。²⁴⁾

と、歩んできた歴史・日本に対する考えから、オールドカマーとニューカマーはお互い別々の道を歩むべきものと認識していた。即ち、ニューカマーは、オールドカマーに対して同胞意識は感じて、連帯意識は感じてなく、将来的に日本においてオールドカマーとは別の道を歩もうとしている。ならば、その道とは何を意味しているのか。当然、ここで考えられるのは、日本での定着形態の違いである。さらに、具体的に言えば、これは、日本国籍取得問題に関わってくるものである。

資料⑤ 「日本での生活に満足していますか」(回答件数49)

	満足している	分からない	満足していない
数	46	0	3
%	94%	0	6%

資料⑥ 「日本人をどう思いますか」(回答件数49)

	好きだ	分からない	嫌いだ
数	41	5	3
%	84%	10.20	6%

23)①取材日時：2013年1月11日午後3時
元祖松屋

②取材場所：東京都新宿区百人町(韓国伝統家庭料理)

24)①取材日時：2013年1月11日午後3時
元祖松屋

②取材場所：東京都新宿区百人町(韓国伝統家庭料理)

3. 日本での定着

過去にオールドカマーには、日本社会との共存より対立を選び、日本国取得を拒否し続け、在日社会の中に「帰化→同化→民族の裏切り者」いう公式を作り出してきた歴史がある。

ここで、帰化要件²⁵⁾をアメリカと比較してみれば、次の通りである。

日本	アメリカ
<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の継続した居住。 ・素行が善良であることの履歴。 ・個人としても、または集団のメンバーとしても、日本国憲法もしくは政府を転覆させようとしたことがない。 ・現在の国籍からの離脱の意思あり、もしくは無国籍であること。 ・経済的自立性。 ・少なくとも20才であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の継続した居住(永住者とした) ・憲法への愛着(忠誠の誓い) ・英語および市民としての知識。

帰化手続きは、アメリカと比較しても、一見そう難しくもないように思える。しかし、「素行が善良であることの履歴」に対して証憑書類を要求しており、しかもそれに対するはっきりとした基準はない。例えば、駐車違反もその対象になり、申請は却下される。「個人としても、または集団のメンバーとしても、日本国憲法もしくは政府を転覆させようとしたことがない」は、例えば過去に総連や民団組織に加盟していたことも審査対象になる。また、就職差別のため、零細自営業や日雇いが多かった在日は、「経済的自立性」を証明するのが困難でもあった。

さらに、法務省官僚が手続き過程において振るうことのできる実質的な裁量権は絶大で、帰化手続きをより不透明で恣意的なものにしてきた²⁶⁾。このため、多くの帰化者は、その過程において、同化が強要され、民族の誇りが傷つけられてきた。植民地政策の結果、日本に居残り差別と貧困のなかで、唯一民族の誇りだけを糧に生きてきたオールドカマーは、帰化を拒否するしかなかったといえる。

しかし、この間同化が進み民族性を失った今、姜尚中氏が

よく日本国籍を取得するとコリアン系日本人だという人がいますが、それは、全く虚構です。積極的に日本国籍を取得し、民族名を名乗る人であればそう言えますが、多くの帰化者はコリアン系日本人ではありません。そこにはコリアンの痕跡は残っておらず、これはもう完全な日本人です。だからこそ日本は国籍取得を奨励しているわけです。²⁷⁾

25) エリン・エラン・チャン, 阿部温子(訳) 『在日外国人と市民権—移民編入の政治学—』 明石書店 2012年 p.160
 26) 上掲書 p.160

と、述べているように、オールドカマーは帰化すれば、韓国系日本人として少数民族社会を作り出すのではなく、単なる日本人として日本社会の中に埋もれてしまう。そして、彼ら在日本の歴史も日本の歴史から消え去るのである。

ならば、オールドカマーのような歴史から自由でかつ民族性を保っているニューカマーは、将来的に日本国籍を取得し韓国系日本人として少数民族を形成するのか。この第一歩が日本での定着である。

インタビューに応じてくれた21人全員がこれからも日本に住み続けると答え、日本での定着を希望していた。しかし、彼らは、決して将来永久に日本に住み続けるとは言わなかった。遠い将来に対しては、全て未知数であった。「いつかは韓国へ帰る」「韓国・日本に捕らわれず、何処に住むか分からない、アメリカかもしれないし、アフリカかも知れない」などなどの多くの意見があった。しかし、「事業体が日本にある以上、結局は、将来にわたっても日本に住み続けるであろう」というのが、大部分の考えであった。そして、帰国を前提としている者も、永住権をとっているか、とる準備を進めていた。さらに、彼らが積極的に参加している韓人会の目的と方針が、「地域社会の発展と融和」「日本の法律を守り、日本人とともに地域社会に貢献する」とあるように、「我々は、大韓民国の国是具現を期する」から始まっている民団の綱領と比べ、日本での暮らしに重点がおかれ将来的に日本に定着することを考慮していることは明らかである。また、日本滞在期間が長ければ長いほど日本の生活に慣れ、韓国での生活の基盤が薄れ、さらに大部分の子は日本生まれであることを考慮すれば、「将来に渡って日本に住み続ける」が、本心であろう。²⁸⁾

これは、将来的に「移住民」として日本に定着することをも意味する。ここで、ここで問題は、「外国人」として行き続けるのか。それとも、日本国籍を取得し、韓国系日本人として生きるかである。日本に定着するという意味は、「日本人との共生」を前提とした「日本社会の一員」となることである。そして、この「日本社会の一員」とは、本国と一緒に未来を切り開くのではなく、日本と一緒に未来を切り開くことを意味するはずである。このためには、主体的に日本の将来にかかわって行かねばならない。ここに「外人として住み続ける」という選択肢はないはずだ。

オールドカマーのような歴史的問題は存在しないにもかかわらず、資料⑦で見ると「将来、日本国籍取得を希望しますか」の質問に対し、90%近くがはっきりと拒絶している。資料⑧の「日本国籍取得を希望しない理由を教えてください」の質問で、「いつかは帰国するつもり」と答えた者(8人)を除き、これからも日本で暮し続けようと思っている者(41人)だけを見ても、41人中35人、85%にも達する。さらに、回答者の中で5人が日本人と結婚し

27)白井美友紀編 『日本国籍を取りますか?』 新幹社 2007年 p.240

28)韓人会の初代会長金熙錫(韓国伝統家庭料理元祖松屋 経営①取材日時:2013年1月11日午後3時②取材場所:東京都新宿区百人町)「私も、日本滞在が長くなるにつれて、日本の正月が正月らしく、旧正月(韓国では、正月を旧正月の時祝い)には何も感じられません。秋夕(韓国の二大名節の一つ、収穫祭のようなもので、この時祖先に感謝する)も同じです。日本の風習に慣れてしまったんですね。子供は特にそうでしょう」。

ているが、唯一仕事の関係上帰化するしかなかった者一人を除けば、4人が日本国籍取得を拒否している。

「日本が好きだ」「日本の生活に満足している」「将来に渡って日本に住み続ける」と日本を受け入れているはずなのに、国籍問題になると一変して日本を拒否する立場をとっていた。

資料⑦ 「将来、日本国籍取得を希望しますか」(回答件数49)

	はい	分からない	いいえ
数	3(既に取得2人)	3	43
%	6%	6%	88%

「日本国籍取得を拒否する」理由として、資料⑧「日本国籍取得を希望しない理由を教えてください」をみれば、「韓国人として生きたい」と「帰化しても、民族が異なるので真の日本人にはなれない」を合わせると80%を超える。ここに、日本国籍を取得すると同時に、韓国人でなくなるという意識が伺い知ることができた。確かに国籍を変えることによって法的に日本人にはなるが、韓民族が大和民族にはなるはずはない。韓国系日本人という認識はなく、ここにニューカマーの強い国民国家観を伺い知ることができる。国籍取得の壁は、オールドカマーのように歴史的な壁でなく、強い国民国家観の壁といえる。

既に述べたように、近代ヨーロッパにおいて作り出された国民国家観というイデオロギーのもとに、韓日両国はそれぞれ『三国遺事』の檀君・『古事記』の天皇を近代の概念でもって解釈し、それを根拠として「太古の時代から一つの民族」という他で見られない強い民族国家観を完成した²⁹⁾。これが、現在の両国民の国民観としての「韓民族だけが、韓国人である」「大和民族だけが、日本人である」を生み出してきた。

このため、ニューカマーはたとえ帰化して法的に日本人になったとしても、心情的にはいつまでたっても外人という意識を持たざるえないということである。そして、インタビューでも聞かれたことであるが、結局は日本人の主流に入ることができないと言ったことである。即ち、「日本において、日本人になろうとしないニューカマー、ニューカマーを日本人として認めない日本人」という意識構造が、ニューカマーの日本国籍取得を拒否させているといえる。

資料⑧ 「日本国籍取得を希望しない理由を教えてください」(回答件数49)

	いつかは帰国するつもり	韓国人として生きたい	民族が異なるので、真の日本人にはなれない	その他	分からない
数	8	26	7	5	3
%	16%	53%	14%	10%	6%

29) 朴正義 『『三国遺事』檀君に根拠する国民国家観の研究』 人文社 2012年 (박정희 [『삼국유사』 단군에 근거한 국민국가관 연구] 인문사 2012년)

「その他」に、李承珉氏の「10年前までは、銀行の融資などで問題がありましたね。しかし、今は日本には、私たちを含めて外国人が200万人以上います。彼らが、日本政府などに働き掛け、今はあまり問題となりません。実績さえよければ、銀行からの融資も可能です。国籍で、融資するかしないかを決めれば、差別にもつながりますしね。ですから、このままでも問題はないので、無理して帰化する必要性は感じないです。今も、韓国と行き来しているのですから、韓国人としてこれからも生きていきたいと思っています」³⁰⁾や、また、李義炯氏の「日本国籍を習得しなくても、選挙権・被選挙がないだけで、日本で生活するのに何ら不自由はない」³¹⁾などの意見が、インタビューにおいて聴かれた。

しかし、「とる必要は感じられない」の後に、「今、生活するのに不自由はないが、もし将来必要であれば取得するかもしれない」という意見が常に続けて述べられた。つまり、何が何でも「国籍」を守り通すのではない。生活優先の国籍選択である。

ニューカマーが主に手がけている業種は、韓国料理店、韓国マーケット、韓国グッズ、韓国人相手の不動産や旅行社、などなど韓国と何がらの繋がりを持ったものが主であり、ここに国籍問題はなく、むしろ韓国人であることが有利に働いているとも言える。つまり、生活優先の面から見ても「現在、帰化する必要性を感じない」が大部分であった。

しかし、基幹産業に入っていくと、日本国籍がないことは致命的である。(株)国際エキスプレスの社長羅承道氏は、「埠頭は外国人が入って行くことができないところです。日本に帰化すれば埠頭の中に入ってライセンスを受けて、また埠頭のナワバリの中で仕事をすることができます。(略)日本で本人がどんな位置でどうやって暮すのかは個人の判断ですが、業種によっては必要性によって、帰化をしなければならない者、帰化をしなくても良い者、私は事業のため帰化をしました」³²⁾と帰化した理由を述べている。また、彼の事業体は世界を相手にしており、韓国とだけ繋がっているのではない。つまり、韓国籍であるメリットはないのである。しかし、国籍取得に対してこうも述べている。「工作上、問題がなかったら帰化をしなかったじゃないですかね。元々帰化をするつもりもなかったでから」³³⁾。まさに、生活優先の面から「必要であるから、国籍を取得した」であった。

4. 子供の国籍取得に柔軟な姿勢

アンケート調査の結果、ニューカマー一世達は自己の国籍取得を拒否しているのに反し、「将来子供達の日本国籍取得」に対しては柔軟な姿勢を示していることが分かった。資料⑨「子供が将来、日本国籍を取ろうとしたとき、どうしますか」で見られるように、賛

30)有限会社DEKIRU 代表取締役 新大久保語学院院長①取材日：2013年1月16日午前11時

②取材場所：東京都新宿区百人町2-4-6新宿メイトビル2・3階(新大久保本校)

31)(株)巨山 代表取締役①取材日：2013年2月13日15:15 ②取材場所：東京都新宿区大久保

32)①取材日：2013年1月22日午前10時②取材場所：東京都新宿区

33)①取材日：2013年1月22日午前10時②取材場所：東京都新宿区

成22%、分からない49%、反対29%であった。確かに、反対が賛成を上回っているが、半数が「分からない」である。これもまた、資料⑧の「いつかは帰国するつもり」と答えた者(8人)を除き、これからも日本で暮し続けようと思っている者(41人)だけを見ると、反対者は10%にも満たない。さらに、インタビューを通じて良く聴いたのが、例えば日本国籍取得に最も強く反発していた韓人会の三・四代目の会長趙玉濟氏でさえ「反対するが、結局は子供に任せることになるでしょね」³⁴⁾であった。過去において、オールドカマーの一世たちが、子供が日本国籍を取得することに激しい拒否感を示し、親子断絶にまで経ったケースが多かったのとは大きな違いを見せた。

さらに、ニューカマーが子供の国籍問題をどのように考えているかは、子供に対する教育問題からも測り知れる。特に、今回の対象者は、資料⑩「最終学歴はどこまでですか」で見られるように、大学卒業以上が90%で、大学院まで出ているのが20%という驚異的な高学歴社会の中におり、子供の教育に関心が高い者たちであった。

その彼らに、資料⑪「子供の教育はどこで受けさせたいですか」(複数回答)という質問で、「子供の国籍問題をどのように考えているか」を確かめた。その結果、複数回答にもかかわらず、「韓国で」と答えた者は30%に過ぎなかった。この質問に対しては、小中学校は親の住む日本で教育を実施するものと考え、将来高校・大学そして大学院進学までを含めて、複数回答にしたのである。これを、「帰国するつもり」を除き、日本で暮し続けると答えた者(41人)だけで考えると、「韓国で」20%にも満たない。子供たちは帰国者子女として、ソウル大学を始め名門大学にも本国にいる高校生より比較的簡単に入れる特権があるにもかかわらず、韓国での教育を否定している。

結果としては、子供が将来に渡って日本に住むことを念頭にいれ、日本での教育を重視していることが分かった。さらに、その他で目立ったのが、インターナショナル・スクール³⁵⁾や欧米圏への留学である。これからは、子供の視野を広げることを念頭に入れての英語教育重視がみられた。そしてそこには、将来グローバル化に備え韓国・日本に捕らわれず、世界の何処でも住むことの出来る大人に育てたい、との願いが込められていた。

ただ、共通して言えたことは、日本人学校で教育させても、どうにかして韓国語を教えたという願いが強かったことである。現在、韓人会の顧問をしている李忠基氏は、オールドカマーの社会を批判して、「私たちは日本にいるが、(オールドカマーのように)子供を日本語だけ話せるそんな世代には育てたくありません。生まれた時から韓国語を学ばせれば、韓国人としての意識を持つことができる。話すことを日本語から学ぶため韓国を忘れるのです」³⁶⁾と語ってくれた。

34)(株)ニュークリエイティブ 代表取締役①取材日：2013年2月14日14:00 ②取材場所：東京都新宿区百人町

35)ここでのインターナショナル・スクールは、新宿にあるヨハン教会が運営する学校で正式な学校ではない、各種学校である。そのため、比較的授業料が安く通える。設備は充実していないが教育内容は他のインターナショナル・スクールと同じで、卒業後欧米の学校への進学も視野にいれている。

36)(株)東海 代表取締役 (カンナム・スタイル、東海本家、ソウル本家、迎賓館、YOFRUTTOなど)①取材日：2013年1月18日午前11時 ②取材場所：東京都新宿区百人町(ソウル本家)

さらに、韓国語学院である新大久保語学院院長の李承珉氏は「今は、韓国人であることが差別の対象ではありません。そのため、韓国語の勉強をしてほしいし、子供にも韓国語を教えてほしい。韓国語を話すことが民族性を保持する一番の道です」と力説し、続けて「今、日本の学校に通わせています。日本で暮らしていたためには、完璧な日本語と日本の知識が必要です。さらに、韓国で住むことも想定して、韓国語も家庭教師を呼んで教え、家では出きるだけ韓国語で話すよう心掛けてます。また、休みの日には韓国によく行かせ、韓国の文化にも慣れさせています」³⁷⁾と、韓国・韓国語を教えるのに努力していることを語ってくれた。現在、オールドカマーのほとんどが全く韓国語を話せず日本人化していることみて、子供たちの将来を憂慮する発言でもあった。これは、インタビューを通じて、皆同じであった。言葉が民族性を保つ第一要因だと考え、ここに、日本に住んでも民族性を失わさせたくないとの思いが強く感じられた。

資料⑨ 「子供が将来、日本国籍を取ろうとしたとき、どうしますか」(回答件数49)

	賛成	分からない	反対
数	11	24	14
%	22.45	48.98	28.57

資料⑩ 「最終学歴はどこまでですか」(回答件数49)

	高校中退	高校卒業	大学中退	大学卒業	大学院修士	大学院博士
数	2	1	2	34	9	1
%	4%	2%	4%	70%	18%	2%

資料⑪ 「子供の教育はどこで受けさせたいですか」(複数回答可 回答件数49)

	韓国にある学校	日本人の学校	韓国人学校	その他
数	14	20	10	14
%	28.57	40.81	20.41	28.57

5. おわりに

オールドカマーは、日本社会の中での差別・無権利・貧困からの救済としての祖国への憧憬をもとに、日本を仮の住まいと定めていた。そして、祖国と日本との対立に対しは決して本国の代弁者の役割を果たし続け、企業家達は本国の発展に積極的に貢献したが、日本の発展には関心を示さなかった。ここに、「日本社会の一員」という意識はなく、どこまでも外国人として暮らし少数民族を形成することはなかった。勿論、これは日本政府のオールドカマーに対する棄民と同化を併用する政策、さらに日本社会における根強い差別意識による結果でもあっ

37)有限会社DEKIRU 代表取締役 新大久保語学院院長 ①取材日時：2013年1月16日午前11時 ②取材場所：東京都新宿区百人町2-4-6新宿メイトビル2・3階(新大久保本校)

た。そして、現在、差別撤廃運動の結果によって法的制度としての差別がある程度緩和され日本との対立意識は薄れてきたが、この間祖国を知らない三・四世の時代からさらに五・六世へと時代は変遷してきた。オールドカマーの国籍はたとえ韓国・朝鮮であっても、そのアイデンティティーは日本であって、韓国文化を持った少数民族を形成する能力はすでになく、同化された状態で帰化が加速化され在日は消滅する運命にある。

この時期、新しく在日の隊列に加わったニューカマーは、オールドカマーの歴史とは違った歴史を日本で作り上げている。ニューカマーは、その組織韓人会の方針「地域社会の発展と融和」「日本の法律を守り、日本人とともに地域社会に貢献する」にみられるように、日本との対立でなく、日本社会との協調を根本に据えている。しかし、「日本の法律を守り、日本人とともに地域社会に貢献する」の個所でみられるように、「日本社会に貢献する」でなく「地域社会に貢献する」と、「地域の一員」になっても「日本の一員」つまり日本国民になること拒否している。そして、調査結果にもみられるように、ほとんどの者が日本国籍の取得を拒否していた。彼らが口をそろえて言うのは、「韓国人だから韓国人として生きるだけである」であった。ここには、オールドカマーのような歴史的問題は存在していない。しかし、国民国家観から見た「帰化すれば韓国人でなくなる」という意識の強さが、日本国籍取得をためらわせていると言える。ニューカマーにとっての、日本国籍の取得への壁は、国民国家観であった。

しかし、インタビューにおいて「必要に応じて、日本国籍が必要なら取得する」が大部分を占めていたように、生活優先という現実的な態度を示していた。また、子供の国籍は時代の流れに任せ。さらに、子供の教育に見られるように、余裕があればインターナショナル・スクール通わせ、韓国・日本に捕らわれずグローバル化に対応できる人間を育てようと努力している。国籍は絶対的なものから「生活の便宜によって選択する」に変わりつつある。ここで大事なのは、国籍はどうであれ民族意識を保持しようとの努力が見られた。

結果として、日本に対して拒否感のないニューカマー達は、一世はともかく二世からは日本国籍取得への流れが加速化するであろう。たとえ、国籍取得して日本人になったとしても、民族性が失われていたなら、韓国系日本人とは言えず、また少数民族を形成することは不可能である。しかし、ニューカマー二世達は韓国語教育を受け、民族性を失っていない。ニューカマー二世の時代になれば、韓国系日本人が大量に生まれ、韓国系少数民族が成立する可能性を見せている。今まで、歴史的に少数民族を認めてこなかった日本にとっては大きな変化で、さらに、彼らの高学歴・経済力を考慮したとき日本社会への高い貢献度が予想され、日本社会が多面的社会への移行するうえでのモデルケースともなるであろう。そして、オールドカマーがなし得なかった韓国と日本の架け橋の役割を果たすものと期待される。

ただ、この流れを阻止するのは、帰化時の日本語名変更への強要である。実際に帰化したニューカマーのほとんどは日本語名を使用している。二世三世の時代になるといくら民族性保持のために努力しても同化は避けられない、この時日本語名であれば韓国系日本人と大和系日本人の区別がなく、そのまま日本人社会に埋没してしまうだろう。

さらに、最近の日本の急激な右翼化による嫌韓現象を超えた反韓暴力行動は、ニューカマーに致命的な影響を与えている。「在特会(在日特権を許さない市民の会)」などの右翼によるヘイトスピーチ、例えば「皆さん、街中で韓国・朝鮮人を見かけたら、石を投げつけ、朝鮮人の女はレイプしてもいいですよ!」、「南京大虐殺じゃなくて大久保大虐殺を実行しますよ!」、「悪い韓国人も、いい韓国人も、皆殺せ」など、「殺せ!殺せ!」と叫びながらデモ行進は、ニューカマーの日本定着に確実に影響を与えている。

特に、今回取材した大久保コリアタウンへの状況は深刻である。デモ隊は、韓国客の多い週末を狙って、路地裏まで侵入し韓国人従業員にはもとより日本人客にも暴言を吐き続けている。それに対して抗議したものなら、待ってましたと、老若男女関係なく集団に恫喝が始まる。彼らの目的は、自ら叫ぶように「コリアタウン大久保が消滅する」までデモを続けるであろう。

「日本が好きだ」「日本の生活に満足している」「将来に渡って日本に住み続ける」と日本を受け入れていたニューカマーたちは、こんな日本に嫌気をさしかけている。残るのは、感情的対立だけである。

【参考文献】

- エリン・エラン・チャン,阿部温子(訳)『在日外国人と市民権—移民編入の政治学—』 明石書店 2012年
- 白井美友紀編 『日本国籍を取りますか?』 新幹社 2007年
- 田中宏『在日外国人』岩波新書 2010(1995)年
- 田中宏『外国人・民族的マイノリティ人権白書』明石書店 2010年
- 小熊英二・姜尚中編『在日一世の記憶』 集英社新書
- 呉圭祥『ドキュメント 在日本朝鮮人連盟』岩波書店
- 鄭大均『在日韓国人(オールドカマー)の終焉』文春新書
- 2011年度登録外国人統計統計表(法務省)
- 新宿区新宿自治創造研究所 研究レポート2011 『外人WGの報告(1)』 2012年1月
- 新宿区新宿自治創造研究所 研究レポート2011 『外人WGの報告(2)』 2012年1月
- 新宿区新宿自治創造研究所 研究レポート2011 『外人WGの報告(3)』 2012年1月

アンケート調査票

201 年 月 日 (男 ・ 女)

* () 以外の質問は、全て _____ 部分の番号に丸をつけてください。

◎日本にいつ来ましたか。西暦(_____)年

◎日本に来た動機は何ですか。①留学 ②仕事 ③家族との同居のため ④韓国
がいやになった ⑤日本が好きだから ⑥その他(_____)

◎日本に定着するのに助けてくれた人は誰ですか。①日本人 ②在日韓国人 ③
韓国人 ④その他(_____)

◎現在、何才ですか。満(_____)才

◎最終学歴はどこまでですか。①高校中退 ②高校卒業 ③大学中退 ④大学
卒業 ⑤修士 ⑥博士

◎結婚しましたか。①はい ②いいえ

* 以下は、①の結婚した人だけ答えてください。

○結婚したのは日本に来てからですか。①はい ②いいえ

○結婚相手は誰ですか。①韓国人 ②日本人 ③在日韓国人 ④その他()

○家族の人は今どこにいますか。①韓国 ②日本で同居 ③その他(_____)

○子供はいますか。①はい ②いいえ

* 以下は、②の結婚していない人だけ答えてください。

○将来結婚を希望する相手は。①韓国人 ②日本人 ③在日韓国人 ④国
籍・民族にこだわらない

◎子供の教育はどこで受けさせたいですか。(まだ子供のいない人も答えてください。また
教育が終わった人は、教育した場所を答えてください)。①韓国 ②日本 ③韓国人学
校 ④その他(_____)

◎永住権を持っていますか。①はい ②いいえ

* 以下は、①の永住権をもっている人だけ答えてください。

○将来、日本国籍取得を希望しますか。①はい ②いいえ ③分からない

* 以下は、②の日本国籍取得を希望しない人だけ答えてください。

○日本国籍取得を希望しない理由を答えてください。①いつかは帰国するつもり
②韓国人として生きたい ③帰化しても、民族が異なるので真の日本人にはなれない
④その他(_____)

○子供が将来、日本国籍を取ろうとしたとき、どうしますか。①賛成 ②分からない
③反対

◎在日韓国人を同胞と思いますか。①思う ②思うほうだ ③分からない ④あまり
思わない ⑤思わない

◎在日韓国人は日本社会で差別を受けていると思いますか。①差別がある ②少し
差別がある ③分からない ④あまり差別はない ⑤差別はない

◎在日韓国人をどう思いますか(複数選択して良い)。①差別のなかでたくましく生きている。
②民族心愛国心を持っていない ③民族心愛国心をもっている ④日本人よりぜ
いたくな暮らしをしている ⑤実質的に日本人と同じだ ⑥金はあるが、文化的に欠て
いる ⑦日本人より道徳的に欠る ⑧日本人より付きにくい ⑨本国の韓国人を避
ける ⑩その他()

◎日本での生活に満足していますか。①満足している ②比較的満足している
③分からない ④あまり満足していない ⑤満足していない

◎日本人をどう思いますか。①好きだ ②好きなほうだ ③わからない ④あまり好き
でない ⑤嫌いだ

* 以下は、①②の好きだと答えた人だけ、その理由を教えてください(複数選択して良い)。
①親切だ ②礼儀正しい ③約束を守る ④規則を守る ⑤金持ちだ ⑥勤勉
だ ⑦その他()

* 以下は、④⑤の嫌いだと答えた人だけ、その理由を教えてください(複数選択して良
い)。
①韓国人を差別する ②裏表がある ③歴史認識がない ④利己主義だ ⑤閉
鎖的だ ⑥排他的だ ⑦その他()

◎最近の日本の右翼化は、将来自分の生活に影響があると思いますか。①とても影
響がある ②少し影響がある ③分からない ④余り影響はない ⑤全く影響はない

◎反韓組織「在特会」をどう思いますか(複数選択して良い)。①怖い ②怒りを感じ
る ③韓日関係に良くない ④国際化の障害 ⑤負け犬集団の集まり ⑥日本人か
らも除け者 ⑦その他()

ご協力感謝します

要旨

在日韓国人問題の主流はニューカマー問題へと、確実に移行している。他国からのニューカマーは日本への出稼ぎ的性格が強いのに比べ、韓国からのニューカマーは日本で起業するなど移住民としての性格を帯びている。さらに、植民地政策の結果日本に居残り、差別と貧困のなかで日本社会と対立する形で今も外国人として日本に住み着いてきたオールドカマーと、自ら好んで日本に住み着いたニューカマーとは出発点から異なり、将来ニューカマーは少数民族として発展する可能性を秘めている。

ここで、問題となるのが日本国籍取得である。オールドカマーのように歴史的問題は存在しないにもかかわらず、日本国籍取得となると90%がこれを拒絶している。その理由として、「韓国人として生きたい」と「帰化しても、民族が異なるので真の日本人にはなれない」をあげている。ここには、日本国籍を取得すると同時に、韓国人でなくなるという意識が意識が強く働いており、ニューカマーの強い国民国家観を伺い知ることができる。国籍取得の壁は、強い国民国家観であった。

しかし、インタビューを通じ聞いたのは、「今、生活するのに不自由はないが、もし将来必要であれば取得するかもしれない」という意見が大部分であった。つまり、何が何でも「国籍」を守り通すのではない。さらに、ニューカマー一世達は、自己の国籍取得を拒否しているのに反し、将来子供達の日本国籍取得に対して柔軟な態度を示し、反対者は10%しかいなかった。それも、「反対したとしても、結局は子供に任せる」であった。

また、二世の将来の教育問題に関しても、子供が将来に渡って日本に住むことを念頭にいれ、日本での教育を重視していた。ただ、共通して言えたのは、日本人学校で教育させても、どうにかして韓国語を教えたいという願望が強かったことである。これは、オールドカマーの三世以降が全く韓国語を話せず日本人化しているのを憂慮してのことである。ここには、日本に住んでいても、民族性を失うわせたくないとの思いが強く感じられた。

日本に対して拒否感のないニューカマー達は、一世はともかく二世からは日本国籍取得への流れが加速化するであろう。たとえ、国籍取得して日本人になったとしても、民族性が失われていたなら、韓国系日本人とは言えず、また少数民族を形成することは不可能である。しかし、ニューカマー二世達は韓国語教育を受け、民族性を失っていない。ニューカマー二世の時代になれば、韓国系日本人が大量に生まれ、韓国系少数民族が成立する可能性を見せている。

キーワード：大久保、ニューカマー、国籍取得、コリアタウン、少数民族

투 고 : 2013. 5. 31
1차 심사 : 2013. 6. 15
2차 심사 : 2013. 7. 6